

## 8月4日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●平和友の会会報連載「世相裏表」2022年9月号原稿(安齋育郎)

続・ウクライナ戦争をどう見るか？

安齋育郎

#### ●「悪魔プーチン、英雄ゼレンスキー」大合唱

様々な情報収取と分析の結果、私はウクライナ戦争の原因は、アメリカ政府とウクライナ政府自身にあると確信しており、「悪魔プーチン、英雄ゼレンスキー」という認識はとれません。私は開戦以来『ウクライナ戦争論集』を2冊発行して関係者に送り、7月24日に園部で行なった講演で使った100枚余りのパワーポイント資料もお送りしています。そこでも私の立場は明確で、この戦争の原因は明らかにアメリカとウクライナの政府にあり、戦争が終わらない理由もアメリカとウクライナ政府にあると確信していることを明らかにしています。

#### ●びっくり仰天すること

大変驚くことに、日本で「悪魔プーチン、英雄ゼレンスキー、ウクライナ頑張れ」大合唱に参加している人々の多くが、①この戦争に先立ってアメリカがウクライナのNATO加盟をめぐる2008年以来ロシアを刺激し、ロシアに国家安全保障上の重大な懸念を抱かせ続けてきたこと、②拳句の果てにはアメリカが2014年のユーロ・マイダン・クーデターを陰で画策してウクライナに親米傀儡政権を作ったこと、③そして、2019年2月にはNATO加盟をウクライナ首相の憲法上の努力義務にしたこと、④2014年に誕生した親米傀儡ポロシェンコ政権下でウクライナ東部のドンバス地方のロシア語話者に「民族浄化」的な攻撃を仕掛け、国連でもジェノサイドと批判されるような蛮行を重ねて1万4000人以上の人々の命を奪ってきたこと、⑤この戦争が始まってからも、今やウクライナ正規軍に組み入れられたアゾフ連隊などの極右民族主義者集団(ネオナチ集団)が住民を「人間の盾」にした立てこもり作戦をとり、撤退時には市民ごと爆破するといった軍事行動をとってきたこと、さらには、⑥ゼレンスキー政権が野党や批判的なマスコミを潰して独裁化し、ブチャの大虐殺、マリウポリ産科病院爆撃、マリウポリ劇場爆撃、兵士による少女レイプ事件や性的虐待、ロシア兵は遺体を犬に食わせているといった証言、クレメンチュクのショッピング・モール攻撃事件などでつき放題のウソについて国際世論をだまし、ひたすら「もっと武器を！」と迫ってきたこと、そして、⑥アメリカなど西側諸国の武器供与で戦争を続けるゼレンスキー政権は、その結果として和平交渉を遠のかせ、ウクライナ国民にとてつもない犠牲を強いていることなど、の事情をよく知らないで「ロシア叩き、ウクライナ支援」の歌を唄っていることです。この傾向は、平和運動、反核運動、憲法擁護運動などに関わっておられる人々においても同じですし、与野党を通じて同様の傾向が見られます。どうしてこうなってしまったのかなあ？

毎日あちこちのツイッターの発信情報を分析していると、「最近、西側発信のウクライナ情報のフェイクはかなり知られてきたが、2014年以來のドンバス地方での民族浄化とも言うべきロシア語話者に対する蹂躪はまだ知られていない」という意見に出くわします。ロシアが特殊軍事作戦に踏み切った理由の一つは「ウクライナの非ナチ化」でしたが、ドンバス地方ではウクライナ正規軍に位置づけら

れたアゾフ連隊などのネオナチ(極右民族主義者)集団が、ウクライナのロシア語話者に反人権的暴虐を加えてきたことが背景にあります。2014年に誕生したアメリカの傀儡政権のポロシェンコ大統領は、ウクライナのウクライナ語話者を「われわれ」と呼び、「ウクライナのロシア語話者」を「かれら」と呼んで、「我々和様々な恩恵に浴することが出来るが、かれらはそうはいかない。われわれの子どもや孫は毎日学校や保育園に行くが、かれらは穴ぐらで暮らす。要するにかれらは何もできないのだ。それこそがこの戦争(ドンバス内戦)に勝つ理由なのだ」と述べ、恐るべきことに翌年にはナチ・ジャーナリストのボグダン・ブトケビッチがテレビに登場して、「ドンバスの人間役立たず。我々ウクライナ人の資源を無駄に消費する。少なくとも150万人は無駄。残酷だが、彼らを絶滅させなければならない」と言い放ちました。そして2014年から今に続くドンバス内戦で、ロシア語を話すというだけの理由で13,000~15,000人とされる人々が命を奪われてきたのです。

ドンバスの人々は2014年に自立の道を選び、ドネツク人民共和国とルハンスク人民共和国を立ち上げて独立を宣しました。「ロシア語話者というだけで自国政府に敵視・迫害されるいわれはない」ということで、ロシアの支援を受けながら分離独立の道を求めてきました。今度の戦争はその延長線上にあり、単に「ロシアによる侵略戦争」という以上に、「民族自決権擁護闘争」の色彩を帯びています。

#### ●フェイク情報が多いのも今次戦争の特徴

驚くことがもう一つありますが、それは、ウクライナ発や西欧諸国発の情報の「ウソつき」ぶりです。あきれ返るほどのウソが平気でつかれ、「悪魔のロシア」のイメージづくりに一役も二役も買っています。そして、日本のマスコミは、例えば、「ブチャの街で撤退するロシア兵が残した何百体もの虐殺死体」といったフェイク・ニュースを流した後、それがウソだと判明した後も修正報道をほとんどしないので、人々は最初に流されたウソによって「悪魔のロシア」のイメージを刷り込まれたままになっています。恐ろしいですね。

最近、某出版社から、ウクライナ戦争論をまとめた本を書いてはどうかと提案されています。著者の私も、本を刊行する予定の出版社の担当者も、もしも「ウクライナ戦争の原因はアメリカ政府とウクライナ政府にこそある。この戦争には民族自決権擁護の側面がある」という趣旨の本を書いた場合にこの国でどのような「袋叩き」が待っているのか、それを気になければならないとは、はなはだ情けない話です。

#### ●クリスタル・スペイン解説:ゼレンスキー、戦場放棄でヴォーグ出演「これは戦時詐欺？」

いつもながらの分かり易い解説で、ゼレンスキー独裁政権の実態を暴いています。約14分。

<https://youtu.be/f2ISPYniHVU>

#### ●こちらクリスタル・スペインさん解説:欧州世界ニュース再開 ラブロフ外交の勝利 中東から手ぶら帰国のバイデン【2022年7月18日】

クリスタル・スペインさんは10ぐらいの各国の情報にアクセスし、私たちの代わりに情報を概括して教えてください。今回は11分余りです。鵜呑みにする必要はありませんが、参考にしましょう。

## ●ウクライナのドンバス住民に対する7つの主な戦争犯罪【2022年5月8日】

著者:アルトゥール・プリマク、ラファエル・ファフルートディノフ

ロシア語翻訳:青山貞一(東京都市大学名誉教授)

「欧米のメディアは、ウクライナでロシア軍が犯したとされる犯罪について、ウクライナのフェイクを積極的に取り上げている。同時に、ドンバスでの8年間の紛争でウクライナ軍とネオナチが犯した犯罪は、彼らの目に触れないままである」という認識のもとに書かれた報告書。

<http://eri.co.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow797.html>

## ●ロシア最高裁判所、ウクライナ「アゾフ大隊」をテロ組織と認定【2022年8月2日】

ロシア最高裁判所は検察庁の訴えに基づき、ウクライナの戦闘部隊「アゾフ」をテロ組織と認定した。「アゾフ」武装勢力をめぐっては、ロシア国内ではすでに過激主義や傭兵制度などの条項で刑事事件として複数提訴されている。

「アゾフ」戦闘員は今後、テロ組織の関係者、共犯者、実行者としてより長い刑期の刑事責任に問われることになる。

ロシア刑法では、組織に関与した者には10年から20年、主犯には15年から20年の服役が適用される。

スポーツニク通信ではこれより前、日本の公安調査庁が「国際テロリズム要覧2021」からウクライナの「アゾフ大隊」に関する記載を削除したことを伝えた。

ウクライナでは、国内でその活動が禁止されているにもかかわらず、事実上の民間軍事会社のような組織が複数活動している。そのうちの1つが、正式にウクライナ国家親衛隊の部隊とみなされている「アゾフ大隊」。「アゾフ大隊」は2014年5月から活動しており、同大隊のメンバーは、過激な極右やネオナチのイデオロギーと結びつけられている。

## ●「NATO は我々をだました」プーチン氏、恒例の年末記者会見で不満あらわに(2021年12月23日)

※安齋注:これはBBCのニュースです。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は2021年12月23日、年末恒例の記者会見を開き、約4時間にわたり様々な質問に答え続けました。不都合な質問を制したりしないため、いつも長くなるので有名な記者会見です。

その中でプーチン氏は、欧米が懸念するウクライナ情勢について手の内を見せなかったものの、北大西洋条約機構(NATO)が東方拡大でロシアに与えてきた脅威を強く批判しました。

BBCのモスクワ特派員、スティーヴ・ローゼンバーグ記者が解説しています。下の写真の下部にあるキャプションの「一寸」というのはもともとの表現では“an inch”です。前にも7月24日に園部で行なった講演の資料の中で説明しましたが、1990年2月9日、アメリカのジェイムズ・ベーカー国務長官は、ソ連のゴルバチョフ書記長に対して「NATO軍の管轄は1インチも東に拡大しない」と発言しましたが、これが有名な「1インチ発言」です。翌日、西独のハンス・ゲンシャー外相やヘルムート・コール首相も訪ソして同趣旨の発言をしています。

<https://www.youtube.com/watch?v=r11cZYUA2M>



## ●ウクライナ軍の攻撃目標はアメリカが決めていた(Mod Russia,2022年8月3日)

ウクライナ政府の HiMARS 攻撃目標がアメリカ政府の承認によって決定されている事が判明した。

ウクライナ国防省諜報部総局長のスキビツキーが、HiMARS の攻撃目標をアメリカ政府が直接ウクライナ政府へ指示していると発言した事について、ロシア国防省は、これを記録し今後考慮していく。

イギリステレグラフ紙のインタビューでスキビツキーは、ミサイルを発射する前に両方の国の諜報機関が確認する必要がある、アメリカ政府は気に入らない攻撃目標であれば中止できる、と発言。これにより、ウクライナ紛争においてアメリカのホワイトハウスとペンタゴンが直接関与している事が証明された。

バイデン政府はウクライナ政府が決めたドンバスへの民間人を狙った市街地などへのミサイル攻撃に対し、直接責任がある。

ウクライナ軍は HiMARS を使って市街地への攻撃を行なった。7月12日 ノヴァヤカホフカ、7月17日 スタカノフ、7月24日 クラスニーラッチ、他ドネツクへの数々の攻撃。そして忘れてはならないのが7月29日のエレノフカにあるアゾフ捕虜収容施設に対する、50人死亡、73人負傷の被害を出した攻撃についてもゼレンスキーが計画し、アメリカ政府が承認した。

エレノフカの虐殺や他のウクライナにおける戦争犯罪の政治的、犯罪的、モラルなどの責任はゼレンスキーと共にバイデン政権の責任でもある。

## ●フランスの極右政党党首ルペンの制裁観(2022年8月3日)

「ロシア経済は負けていないし、ロシアはデフォルトもしていない。我々はロシアよりはるかに多くのエネルギー制裁の犠牲者だ...これらの制裁は終わらせなければならない」

ルペンにまで言われてる。

## ●ペロシの台湾訪問についての台湾市民の声(2022年8月3日)

※安齋注:ロシア・テレビの報道です。「台湾を政治利用してアメリカ政府の維持を狙っているだけだ」「台湾の人々には何のメリットもない」などの声。

<https://twitter.com/Jano661/status/1554679388264083457?s=20&t=Umw4WSV4xMl6MO82NWvtEQ>

このニュースに関連してテレビ朝日が以下のテレビ画面のようなニュースを伝え、びっくりした人もいたようだ。こうした「強い言葉」による「報道」には問題があり、ツイッター上でも「相変わらずテレビ朝日ふざけてんな。こんなニュースの書き出しすんじゃねえよ！マジで焦っただろうが！①中国の港から空母が2隻出た、②それとは別に台湾の空港に爆破予告の脅迫メールが届いている一続きで書くと中国が宣戦布告したみたいに見えんדרろ××！」と怒っ

ている人がいます。



### ●ロシア大使、広島市の招待がなくても原爆犠牲者追悼に広島訪問(2022年8月2日)

5月に広島市は原爆の日(8月6日)の式典にロシア側を招待しないと発表。これを受け、ロシアのガルージン大使は「恥ずべき措置」と日本側の対応を非難していました。ガルージン大使の広島訪問が正式に決定した。大使は4日に原爆死没者慰霊碑を訪れて献花する予定。

